

庄原市医師会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の第6波に備えて

一人一人の
心掛けが大切です！



庄原市医師会 会長 林 亮

家庭内での感染対策

- ▶同居以外の人との飲食を避ける
(時間をずらす、別の場所で飲食)
- ▶手洗い・手指消毒を徹底する
- ▶黙食、会話時はマスクを着用する
- ▶可能な範囲で距離を取る
(特に飲食時は正面・横を避ける)
- ▶「密閉・密集・密接」の全てを避ける
(1つの密でも感染するため要注意)
- ▶小まめに換気する
- ▶よく触れる場所・物を消毒する など

6月下旬から始まった新型コロナウイルスは過去最大の流行となり、近隣市町でも多数の感染者が確認されました。多くが帰省を含めた感染拡大地域との往来が原因で、そこから感染が拡大しています。県外・感染拡大地域との往来を避け、市内にウイルスを持ち込まないことが重要です。

また、感染経路が特定されているケースのうち、家庭内の感染が半数以上を占めています。子どもが家庭内で感染し、学校や保育所でクラスターになっています。大人が家庭内にウイルスを持ち込まないこと、家庭内でも適切に感染対策を行うことが重要なことです。

9月下旬の県のデータでは、ワクチンの効果が表れており、2回接種した人が感染者と濃厚接触したときに感染する確率が、未接種者の3分の1に減少しています。さらに、新規感染者のうち高齢者の割合が25パーセントから5パーセントへ減少し、高齢者が中等症Ⅱ以上の重症となる割合が41・7パーセントから13・2パーセントに減少しています。

しかし、ワクチンを接種していても、感染し重症化・死亡する人も少なくありません。今後、今以上にワクチンが効かないウイルスが新たに出現する可能性もありますし、時間とともに

にワクチンの効果は低下します。ワクチンの効果を過度に期待せず、適切な感染対策を継続しましょう。

これから冬を迎え、新型コロナウイルス以外の感染症が流行する可能性もありますので、インフルエンザなどのワクチンは接種しておきましょう。

新型コロナウイルス感染症は、いくら注意・予防していても、気が付かないうちに感染し、人にうつしてしまう怖い感染症です。次の症状に注意して、おかしいと感じたらすぐに県の相談窓口などに相談するか、必ず電話連絡をしてからかかりつけ医を受診しましょう。

【気を付ける症状】

せき・発熱・身体のだるさ・のどの痛み・関節の痛み・頭痛などのかぜの症状、味やにおいの異常などいつもと違う症状

今後起こるかもしれない第6波の影響を最小限にし、安心・安全に生活を送るためには、市民の皆さん一人一人の心掛けと、日々の感染対策を徹底することが重要です。大切な人を守るためにも、みんなで一丸となって感染症に立ち向かいましょう。

ワクチンの追加接種(3回目接種)と今後の予約受け付け

庄原市新型コロナウイルス感染症対策本部
☎0824-731137

◎追加接種(3回目接種)

新型コロナウイルスワクチンを2回接種した場合でも、時間の経過とともに、ワクチンの効果が低下することが報告されています。そのため、追加接種の必要があると、国から示されました。国の方針に基づき、庄原市でも順次接種を行う予定です。

▼対象者

2回目接種後おおむね8カ月以上経過した人

▼接種券等の発送日

2回目接種日から8カ月経過する人へ順次発送

▼開始時期

12月(4月中旬に2回目接種を終えた人)

▼ワクチンの種類 原則1、2回目と同じ

※今後詳しい内容や変更があった場合は、改めてお知らせします

◎今後の予約受け付け

追加接種が12月から予定されており、市内の接種率も80%を超えている状況から、**11月末で2回目接種を終了することを目標**としています。接種を希望する人で、まだ一度も接種をしていない人は、お早めに庄原市新型コロナウイルス感染症対策本部へご連絡ください。

※12歳になる人は、12月以降も引き続き接種を実施します。12歳になる誕生日の月末に、市から接種券を送付します。